

平成24年度提携システム構築バックアップ事業の公募について

財団法人大日本蚕糸会
蚕糸・絹業提携支援センター

財団法人大日本蚕糸会では、平成19年度より蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業を実施しております。

この事業は、繭・生糸の生産者（養蚕・製糸）と、加工・流通関係者（製織、染色、卸問屋、小売）が提携して、国産繭・生糸の特徴や希少性を活かした、消費者の求める付加価値の高い純国産絹製品を開発・販売するグループの育成支援を通じて、蚕糸業の再生と持続的発展を図ることをねらいとして実施しております。

今般、本事業推進の一環として実施する下記の事業については、公募により実施することとしましたので、希望される方は3月16日（金）までに本会に予め連絡するとともに、別紙1 応募書及び別紙2 事業実施計画書を提出して下さい。

記

公募事業の内容（提携システム構築バックアップ事業の一環としての事業）

- (1) 純国産絹製品の百貨店等の展示会の開催及びPR活動の実施
(純国産絹製品を百貨店等で展示会を開催するとともにPR活動を実施)
- (2) 純国産絹マークの普及・配布及び管理の実施
(純国産絹のマーク承認・配布、純国産絹マークの調査・分析・管理)

本事項に関する問い合わせ先

財団法人大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター（TEL 03-3214-3500）
草野、安藤、柳澤、羽田、佐藤

公募事業その1

事業の名称：純国産絹製品の百貨店等の展示会の開催及びPR活動の実施

1. 事業の内容：既に商品化段階にある純国産絹製品、コーディネーター等が作成した同試作品等を、東京及び主要地方都市の百貨店等で展示会を開催するとともに、自ら純国産絹製品を継続的に展示する等、純国産絹製品の普及展示及びPR活動を行う。

(1) 純国産絹製品の普及を図るため、百貨店等(東京及び地方)で展示会を開催し、消費者等に対するPR活動を実施

(2) 新技術・新素材等を取り入れた純国産絹製品を試作するとともに、そのPR資料を作成し、それらを自ら継続的に展示するコーナーを設置する等、消費者等に対するPR活動を実施

2. 委託事業実施期間：平成24年4月～平成25年3月中旬

3. 事業費概算希望額：9,500,000円

(ただし、農林水産省との協議の結果、事業費の変更の可能性があります。)

公募事業その2

事業の名称：純国産絹マークの普及・配布及び管理の実施

1. 事業の内容：純国産絹マークの承認及び適正管理のための委員会の開催、純国産絹マークの製作及び配付並びに普及及び管理を行う。

(1) 純国産絹マークの承認等を行う委員会の開催（審査委員会、適正管理委員会等の開催）

(2) 純国産絹マークの製作・配付

(3) 純国産絹マークの利用・管理状況等に関する調査分析等を通じた適正な普及推進

2. 委託事業実施期間：平成24年4月～平成25年3月中旬

3. 事業費概算希望額：9,000,000円

（ただし、農林水産省との協議の結果、事業費の変更の可能性があります。）

(別紙1)

番 号
年 月 日

財団法人大日本蚕糸会
会頭 高 木 賢 殿

(応募団体)

住 所

名 称

代表者

印

蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業に関する応募書

1. 応募事業名

2. 応募事業の取組の概要

3. 蚕糸業及び絹業に対する知見及び絹に関するこれまでの経験・実績

4. その他本事業を執行する上での特記事項

(別紙2)

番 号
年 月 日

財団法人大日本蚕糸会
会頭 高 木 賢 殿

(応募団体)

住 所

名 称

代表者

印

〇〇の実施に関する事業実施計画書

1. 事業実施の概要

2. 事業の内容

事業区分	事業内容	実施時期	事業量	単価	事業費

3. 添付資料

- (1) 委員会等を設置している場合は、委員会の名称及び構成者
- (2) 調査等を実施する場合は、調査方法、調査時期、調査内容及び取り纏め方法等の概要（調査事業の基本構想）の書面
- (3) 展示会については、企画書の概要（展示会のねらい、開催時期、開催場所、出品者（応募者）、出品点数等）